

助成受給団体名	ふりがな けせんぬまちく しょうねんぼどういんきょうかい 気仙沼地区少年補導員協会
事業の名称	「地域で育もう! 被災地気仙沼の未来を担う子ども達を」
実施期間	平成25年8月1日～同26年7月31日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>気仙沼地区少年補導員協会では、街頭補導活動を始め、各学校における非行防止教室等に会員が出向くなどして、少年の健全育成活動に取り組んでいるところであるが、今般、子どもたちの発達段階に応じた内容で、身近な犯罪(被害)や非行を題材とした広報啓発資料を作成したもの。小学1～3年、小学4～6年、中・高校生に分け、非行防止及び情報モラルを取り上げた内容で、少年の規範意識向上を図っており、各学校で全校児童、生徒にそれぞれ配付している。</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>作製した広報啓発資料は、市内各学校における非行防止教室・情報モラル教室において児童・生徒に配布し、各種講話の題材として効果的に活用している。</p> <p>非行防止リーフレット(2種類)は、具体的な問題行動として、暴行、自転車盗、万引き、器物損壊等を取り上げており、小・中・高校生からも「分かりやすい。具体例が多く、ルールやマナーを守って生活したい。」との話が出されている。</p> <p>また、情報モラルリーフレットは、インターネット利用の危険性、トラブル、被害事例とセキリテ対策を分かりやすく紹介しており、学校教員から「我々がサイバー犯罪を理解するため活用したい。」との反響が寄せられており、成果が認められた。</p>	
今後の課題	
<p>市内各学校における非行防止教室の開催率は77.5%(12月6日現在)で、同教室の実施予定がない学校もあるため、今後、未実施校に対する働きかけを強化していく必要がある。</p> <p>少年非行は減少傾向で推移しているものの、ネットがらみのトラブルが増加しており、情報モラルを含め、少年の規範意識向上に向けた取組を継続していくことが求められている。</p>	

